

### ③重点取組目標・計画

#### 【2022年度の重点目標・計画】

当社では事業活動の環境負荷低減を目指し、2021年度は以下の重点課題に取り組んでいきます。

#### ●工場廃棄物再資源化の継続向上

#### ●省エネルギーの推進

<目標>燃料、電力の使用原単位を2002年度比で、2021年度中に燃料で約4%、電力で37%削減します。

<取り組み内容>

- ・生産効率の改善
- ・動力のインバーター化
- ・高効率設備の導入（焼入焼戻炉、熱間鍛造用加熱装置）
- ・省エネ管理の徹底
- ・節電の推進

#### ●温室効果ガスの抑制

<目標>生産におけるCO<sub>2</sub>排出原単位を2002年度比で、2021年度中に約50.4%削減します。

<取り組み内容>

- ・生産効率の改善
- ・高効率設備の導入
- ・運送効率の改善
- ・CO<sub>2</sub>排出原単位が低い電力の採用

#### ●社用車の低公害化の推進

#### ●環境管理システムの充実

ISO14001システムの定着、活性化。

### ④公害防止対策に係る計画

#### ア. 目標及び管理目標値

	目 標
騒音防止対策	◆「騒音規制法」及び「環境の保全と創造に関する条例(兵庫県条例)」に定める基準を遵守する。
振動防止対策	◆「振動規制法」及び「環境の保全と創造に関する条例(兵庫県条例)」に定める基準を遵守する。
産業廃棄物対策	◆廃棄物の処理及び清掃に関する法律等の法令の規制を遵守し、廃棄物の適正処理を行う。 ◆廃棄物の発生量を抑制するとともに、再利用を促進する。

イ. 目標達成のために講ずる措置・対策

○目標達成のために講ずる措置・対策(その1)

目 標 項 目		目標達成のために講ずる措置 (目標の達成状況の確認手段を含む)
騒音防止	法令等の基準の遵守	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆法令等の基準遵守の確認に必要な測定・監視体制を定め、測定・監視を行う。</li> <li>◆基準を遵守するために必要な対策を講ずる。具体的には、発生源対策として、防音カバーの設置、吸音材の設置、低騒音型の施設への更新。</li> </ul>
	法令等の規制を遵守	◆法令等に定める産業廃棄物管理票(マニフェスト)制度、廃棄物の保管・処理基準を遵守し、法定の記録・報告を実施する。
産業廃棄物対策	廃棄物の発生抑制・再利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆産業廃棄物の再生利用、再資源化等の有効利用及び減量化に関する処理計画を策定し、必要に応じ市へ報告を行う。</li> <li>◆工程の見直しを行い、廃棄物の発生抑制・再利用を積極的に実施する。</li> <li>◆他の事業所(者)との連携を含め、ゼロエミッション構想の実現に向けた調査・研究を推進する。</li> </ul>

⑤ 地球温暖化対策に係る計画

イ. 基準年度及び前年度の二酸化炭素排出量、今年度及び 2021 年度の二酸化炭素の排出削減目標（その他温室効果ガスが発生している場合はその排出量、排出削減目標も含む。）

温室効果ガス	排出量 (%)		削減目標 (%)		削減率 (%)	
	基準年度 (2002 年度)	前年度 (2021 年度)	今年度 (2021 年度)	2022 年度	今年度 (2021 年度)	2022 年度
二酸化炭素	100	-16.2	-15.0	-13.9	-15	-13.9
メタン						
一酸化二窒素						
HFC						
PFC						
六フッ化硫黄						
合計						

ウ. 目標達成のために講ずる措置・対策

措置の区分	具体的対策	削減目標
エネルギーの使用の合理化	集中生産の推進、生産効率の改善	燃料の使用に伴う CO <sub>2</sub> 排出量を 2021 年度に比べ、2022 年度に原単位で 1%削減する。
	バーナーの整備、高効率設備の導入	
	冷却水装置のポンプ、高効率設備への更新	電力消費原単位を 2021 年度比 1%削減する。(CO <sub>2</sub> 排出原単位 1%削減)
	昼休みの一斉消灯	
製造工程における対策	製造工程における生産性の改善	CO <sub>2</sub> 排出原単位を 2021 年度比 2022 年度に 1%削減する
	熱間鍛造より冷間鍛造化の推進	
その他		

⑥ 公害防止対策及び地球温暖化対策以外の環境保全活動に係る計画

公害防止対策、地球温暖化対策以外の環境保全活動に係る目標、計画  
(目標達成年次 2022 年度中)

	分野	項目	目標
1	事業所等での節水	節水	2021 年比 1%減
2	事業所等での廃棄物の適正処理・減量	分別回収	徹底
		コピー用紙の使用削減	2021 年比 1%減
		ミスコピー用紙の再利用	徹底
		廃棄物発生量の削減	1998 年比 20%減

3	事業所等での再生製品等の使用	グリーン購入の実施		100%
		再生紙の使用促進		100%
		プリンタトナーカートリッジの再生利用		100%
		充電電池等の利用		50%
4	環境負荷の少ない資源、材料、燃料の選択	廃棄の際の環境影響を配慮した材料の選定	処分可能部分の塩素化合物の削減	全廃
			梱包用発泡スチロールの削減	全廃
			分解工程の効率化	30%向上
5	自動車対策	マイカー通勤の抑制		抑制指導
		積載量の適正化		全車両
		エコドライブ・アイドリングストップの推進		徹底
		低公害・省エネルギーな自動車への転換		買換時全車転換
		(取引企業間における) グリーン配送の実施		
6	フロン等排出の抑制	代替物資への転換、特定フロン非使用設備導入		全量
		業務用エアコンの定期点検実施		自主点検、定期点検実施
		特定フロン使用機器の適正廃棄		フロン回収の徹底
7	環境に配慮した施設整備	緑地の整備		敷地の25%以上
		光害の抑制		夜間照明の抑制
8	従業員教育	エネルギー管理者資格		1人/年
		環境に関する教育		全社員1回/年
9	地域社会への参画	事業所周辺の清掃活動		年1回実施を継続
		地域の環境保全活動への社員派遣		1人/月
10	環境管理システムの充実	ISO14001システムの活性化		全事業所
		内部監査の実施		1回/年